

先輩職員からのメッセージ (税務職員試験採用職員)



中田 涼介 (Ryosuke Nakata)

札幌中税務署 個人課税第2部門
平成24年採用

H24. 4月～25. 3月 普通科研修
H25. 3月 札幌中税務署 個人課税第1部門
H25. 7月 現職

※ 所属は平成28年1月現在です。

現在のしごと

私は、個人課税部門の職員として、所得税や個人事業者の消費税等に関する税務調査や申告相談を担当しています。

税務調査は、既に提出された確定申告書の内容が正しいものであるか等を、実際に納税者の方と対話しながら確認する仕事です。

申告相談は、主に確定申告期間に来署する納税者の方の質問等に答えて指導することにより、スムーズに確定申告の手続きができるようにバックアップをする仕事です。

これらの仕事を行っていくためには税法の知識が必要なのはもちろんですが、変わりゆく社会・経済情勢や納税者の方の仕事の内容を十分に理解する必要もあり、大変ではありますが、やりがいを感じています。

身についたスキル

この職場に入って身に付いたスキルはいろいろありますが、特に努力して身に付けたのは対話力です。

税務の職場は、閉鎖的な空間の中で黙々とデスクワークをこなしていく職場だと思っている方も多いと思います。私もこの職場に入る前は、そのように考えていました。

しかし、実際に職場へ入ってみると、納税者の方と接する機会がとても多いため、対話力が最も必要な能力だとすぐに感じました。

人生の先輩である納税者の方や職場の諸先輩方と接していく中で、「『人』との接し方」の重要性を意識したことにより、対話力を向上させることができました。



国税を目指す後輩へのメッセージ

公務員は、国民全体の奉仕者として、日々職務を全うする必要があり、相応の責任が求められる仕事です。

それゆえ、税務署などの職場は重い雰囲気、息が詰まるのではないかと思っている方も多いことでしょう。

しかし、実際の職場はアットホームで暖かい環境ですし、仕事の内容はとてやりがいがあるものです。

国税庁HPにアクセスして頂いたことを機会に、もっと税務の職場について興味を持ってみませんか。